



わたしじつは消防吏員



## 悔しさからの出発

島根県  
松江市消防本部  
齋藤 祐美

### 仕事

私は、平成22年に消防吏員を拝命し、今年で8年目となります。現在は警防隊員として主にタンク車の機関員をしています。

災害対応はもちろんのこと、訓練指導や立入検査、消火栓点検等幅広い業務に励んでいます。



音楽を通し火災予防を呼び掛けています



笑顔で軽々と懸垂をこなします

### 世界一への道程

消防士になりたての頃、私は懸垂が1回もできませんでした。周りの男性職員が軽々とこなす姿を見て悔しさと同時に、女性だからということを経験したくないと強く思い、その日から私の懸垂との戦いが始まりました。1日800回を自身に課し、毎日懸垂をやり続けた結果、手の皮は何度も剥け、肩や肘の痛みで気持ちが折れそうになるときもありました。

それでも「辞めよう」と思ったことは一度もありませんでした。継続の先に必ず答えがあると信じていたからです。

いつか苦手だったはずの懸垂が得意になっていく自分がいました。

その後、「1分間に何回懸垂(順手)ができるか」という女性部門のギネス世界記録に挑戦し、30回の記録を樹立しギネス世界記録に認定されました。

私は「世界一」という形で懸垂に答えを見付けました。

### 新たな出発

懸垂で培った筋力と精神力は日々の業務に活かされています。

世界一を終わりではなく新たな出発と捉え、これからも自身のギネス世界記録更新と他の懸垂に関する世界一取得を目指し続けていきたいと考えています。

今回のギネス世界記録の樹立に当たり、協力いただいた皆様へ感謝しつつ、懸垂を通じて同じ全国の女性消防士の皆様の励みになれば、これほど嬉しいことはありません。



危険物火災対応訓練の様子